

令和3年度 社会福祉法人春風会 事業経営基本方針

令和3年度は、以下の6項目を重点項目として取り組んでまいります。(要点のみを抜粋)

1. 利用者の人格を尊重し、職員の助け合う心と創意工夫の発揮、信頼される施設づくり

- ・利用者一人ひとりの人格を尊重した常に質の高いサービスを提供する。職員一人ひとりが夢と誇りを持って、楽しく生き活きと働ける魅力ある職場、遣り甲斐のある職場作りに全力で取り組む。

2. 職員の研修教育・キャリアアップ制度の充実、資格取得への支援と福利厚生への推進

- ・職員の人材確保と育成に全力を挙げて取り組み、職員研修・教育体制の充実を図る。そのため、新規採用職員を対象としたトレーナー制度の充実・強化、障害・保育・介護現場の中核をなす中堅職員を対象とした中堅職員研修の充実とリーダー研修において、副・主任の職務の明確化を図り、リーダーシップを発揮しやすい体制作りを構築していく。
- ・一人がリーダーのチームではなく、全員がリーダーシップを発揮できるチーム作りをする。
- ・職員の子ども等への奨学金の貸付制度や日本語学校に在籍している外国人留学生への法人独自の奨学金貸付制度の創設をする。

3. 健全で安全な経営と職員のモラル・マナー教育の推進

- ・全職員が笑顔で挨拶を基本にし、職員間のマナーと来園者への挨拶の徹底を推進する。
- ・正しい言葉遣いの徹底と日々の悔悟の中でも常に笑いのある介護を推進する。

4. 施設内委員会活動、科学的介護と穏やかな看取り介護の推進、栄養部門の改革、在宅事業の強化

- ・法人に新型コロナ感染症対策委員会を設置すると同時に、各施設の感染症対策委員会・研修委員会等の各種委員会の取り組みを強化。介護事故ゼロへの取り組みと事故原因究明のための現場主義の徹底を図る。
- ・法人全体で科学的介護と穏やかな看取り介護の取り組みを推進する。介護の分業化の研究と看取り介護のマニュアル化・テキスト化を推進する。
- ・栄養部門は介護食や献立メニューの開発と配食サービスの拡充、クックチル調理法を使つての給食方法の導入を検討する。法人で食料品、介護用品などの一括購入・共同仕入れ、給食の下処理センターなどを検討する。

5. 介護・保育・障害の福祉の魅力発信と福祉現場でのIT化の推進、生産性の向上を図る

- ・保育、介護記録の電子化、高齢者の見守りセンサーやベビーセンサーの活用、インカム無線機の導入など介護機器の積極的な導入、介護ロボットの活用、福祉現場の情報化・IT化を法人の全施設で推進する。
- ・付加価値のあるサービス提供、買い手本位の発想を常にとる。利用者・家族が抱える問題点を探し出し、それに応えるサービスを提供する。

6. 法人職員の活性化と育成、70歳までの継続雇用と子育て支援・EPA等での人材確保対策

- ・昨年4月より退職年齢を65歳に引き上げ、70歳までの継続雇用とした。更には、介護の仕事の分業化・細分化し、75歳、80歳まで働く事の出来る雇用形態を確立する。
- ・結婚や出産等で一度退職した職員を職場に復帰できるように積極的な支援策を推進する。
- ・妊娠中の職員も安心して働け、出産して職場復帰できる職場環境、企業内託児所の整備を推進する。
- ・EPAによる外国人介護職員の確保と並んで外国人技能実習生の受入れを推進し、5年後、10年後に備えて外国人介護職員の確保と育成に努める。